

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 第3回賢明な利活用検討部会 議事要旨

日 時：平成27年 2月25日（水） 15時00分～16時05分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2階大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：44 団体中 26 団体（33 名）、
オブザーバー：4 団体中 1 団体（2 名）が出席）

<議事要旨>

※部会については、栃木市と小山市が交互に事務局を務めることとなっており、本会は栃木市が担当。栃木市総合政策課主査・與澤が司会進行。

1. 開会

司会より開会の辞。
配布資料の確認。

2. 挨拶

※部会長を務める栃木市総合政策課 荒川主幹より。

- ・前回の部会で決定した、安全対策を含めた利用マナーづくりに対する部会員の意見をいただいた。その調査の結果についてご説明したい。
- ・調査で伺った意見を踏まえて、部会として進めていきたい方向性を整理し、考えをお示しますので、皆様のご意見を伺いたい。
- ・大会議室でのマイク設備が聞き取りにくいとの意見があり、会場を中会議室に変更した。

3. 議事

(1) 安全対策を含めた利用ルール作りに関する調査の結果について

- ・「資料1」及び「資料2-1」に基づいて荒川主幹説明。

戴いた意見を基に、現状の問題点・対応案等を説明。

遊水地における個別活動のマナー向上の啓発等、マナーに関するアウトプットを出していきたい。

部会や協議会は決定機関ではないため、ルール作りのためには他の検討会などを設け、考えた方が良い。また、専門家の意見も必要であり、かなりの労力と時間が必要となる。

8月の協議会へ向けて部会よりマナーの向上・啓発の旨の提言を行い、統一したパンフレット等を利用し、構成団体が啓発活動を行っていくことが良いのではないかと。

(2)

- ・「資料2-2」及び「資料3」に基づいて荒川主幹説明。

構成員から提出された意見を集約し、

マナーに記載する内容はどんなものがよいかを「資料2-2」により、また作成するマナー啓

発行リーフレットのイメージとして「資料3」のようなものを目指したいと説明。これらについて意見を求める。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏

意見の提出のとき、立入禁止などの意見を書いたが、いつ、どこを誰が決めるのが難しい。第一段階としては来訪者の良心に訴える、ということで、この程度の柔らかいもので良いのではないか。最近では、鳥の観察をしているときなど、以前ほど高速走行する自転車は少なくなったように思う。

○わたらせ未来基金 内田氏

最初から厳しいものでなくて、今回示されたようなものでよい。チラシを配布するのが一番良いが、パネル・看板があると良い。

○特定非営利活動法人 スカイダイブ藤岡 藤原氏

分かりやすくまとめてもらっている。しかし、こういったものができて配布すると終わった気になってしまうのが大人の悪いところ。継続的に続けていって、将来的に貴重な場所を残していくことが一番大切。子どもたちに標語や絵画など学校に協力を呼びかけて、大人だけでなく地域に活動を広げていくことがよいのではないか。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

これから作成するパンフレットは子供にも分かるようにとのことで、写真だけでなく、絵を使った方が子供だけでなく、大人からも親しみが持たれると思う。藤原さんからお話が出たが、子どもから絵を募集しても良いのでは。

○アクリメーション振興財団 白井氏

たき火で火事が起こった事や、タバコが原因と思われる火災（野火）もある。そういったことも盛り込んでもらった方が注意しやすい。

【議長より】

作成に当たっての予算が、現状では計上されていない。予算のことも含め、どのような作り方をするかについては今後、検討しなくてはならない。

今回のものはあくまで、案であるため、このほかにももっと盛り込んだ方がよいことなどがあれば、今後も提案してほしい。

本日お示しした考え方で、今後進めていっても良いか。良ければ次回の部会までに、原案を事務局で考えていきたい。

○ 出席者 ⇒了承

4. 情報交換

- 渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏より配布したチラシの紹介。
 - ・第53回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料
- ヨシ焼きチラシの紹介

5. その他

- 司会より「資料4」平成27年協議会予定表により今後の部会等の開催予定の確認。
- 司会より次回開催日（平成27年3月25日予定）の確認。

6. 閉会

- 司会より閉会の辞